

生成 AI の使用に関する注意

武蔵大学社会学部

1. はじめに

社会学部の総合型選抜入学試験では、いずれの方式でも一次選考で書類審査を実施します。近年、生成 AI (generative artificial intelligence) が相次いで発表されていることを踏まえ、その使用に関する一般的な注意喚起を行うとともに、出願書類の作成への使用の可否及び使用時のルールについて記します。熟読するとともに、十分な準備をして臨んで下さい。

2. 生成 AI の利用に関する一般的な注意喚起

生成 AI とは、インターネット上の情報や利用者が入力した情報をもとに、人工知能が文書・画像・音楽・動画などを生成して出力するものです。AI との対話を通して、人間から見て違和感のない文書等を効率よく出力できる利点があります。一方で、以下のような限界があることに留意が必要です。

- ・ 結果の正確性は保証されません

得られる結果 (内容) の正確性が保証されているわけではありません。誤りや古い情報が含まれる可能性があります。

- ・ 結果は主にインターネット上の情報を使って出力されます

インターネット上にない情報の中にも重要なもの (書籍・映像等) はたくさんあります。また、未解明・未発掘の事実は地道な調査を通して明らかにする必要があります。

- ・ 機密情報や個人情報の漏洩リスクがあります

結果を得るために手元の情報を AI に学習させることも可能ですが、その際に収集された情報 (特に機密情報や個人情報) が使用者の意図しない形で使用・悪用されない保証はありません。

- ・ 結果に剽窃が含まれる可能性があります

剽窃 (ひょうせつ) とは、他者の成果であることを明示せず、あたかも自分のオリジナルな成果であるかのように発表することを指します。このことは不誠実だけでなく、犯罪 (著作権侵害) になる可能性もあります。

- ・ 結果に差別や偏見を助長する表現が含まれる可能性があります

AI がインターネット上の情報を学習することで、差別や偏見を助長する表現が出力されることがあります。悪意の有無を問わず、提出物の内容に関する責任は利用者自身が負うこととなります。

3. 社会学部・総合型選抜入学試験における生成 AI の使用の可否等

社会学部では総合型選抜入学試験において、生成 AI の使用の可否（使用可の場合はその条件）を方式ごとに以下の通り定めます。

(1) 社会学科

- ・ ゼミ力重視方式、将来計画書方式（GDS コース）：

使用可。ただし将来計画書の全文を生成 AI の出力のみで作成することは認められません（使用した場合はどのように使ったかを明記すること）。使用したこと自体による加点・減点はありません。

(2) メディア社会学科

- ・ ゼミ力重視方式、将来計画書方式（GDS コース）：

使用可。ただし将来計画書の全文を生成 AI の出力のみで作成することは認められません（使用した場合はどのように使ったかを明記すること）。使用したこと自体による加点・減点はありません。

- ・ メディア・クリエーション方式：使用可、ただし使用した場合はどのように使ったかを明記すること。使用したこと自体による加点・減点はありません

4. その他

現時点では、出願書類の作成に生成 AI が使用されたか否かを確実に判別する手段はなく、最終的には受験生の皆さんの誠実さを信頼するほかありません。一方で、上記のルールを遵守した受験生が不利になることのないよう、慎重な審査を行う予定です。皆様のご協力をお願いいたします。

以 上